



桐の木

下伊那郡松川町上片桐2930番地
Tel (37) 2004 Fax (37) 3278
Mail matukita@bz04.plala.or.jp

学力向上に向けて ～令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果より～

本年度、6年生を対象に実施しました全国学力・学習状況調査に関して、本校での分析結果の特徴的な部分について報告します。課題をもとに、今後の支援や授業改善に生かしてまいりたいと思います。

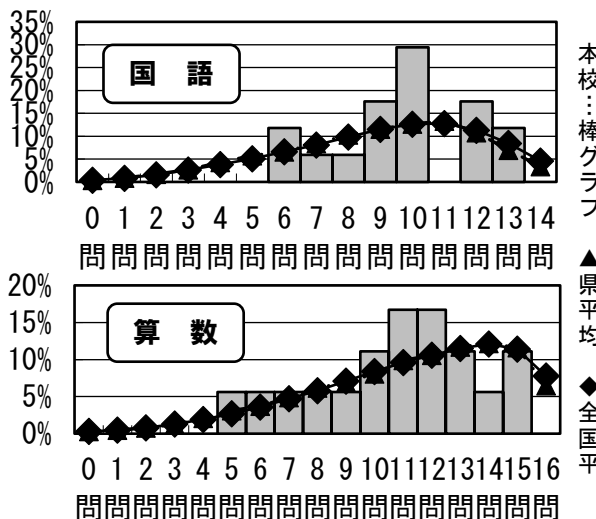
1 松川北小学校6年生の平均正答率と長野県平均・全国平均との比較

県・全国平均と比べ、国語は大幅に上回りましたが、算数は若干低めの結果となりました。

領域別にみると、国語は「話すこと・聞くこと」「読むこと」「言葉の特徴や使い方に関する事項」が非常に高く、全国平均よりも約7ポイント程度高い結果となっています。

また、算数は「データの活用」に関しては全国平均よりも3ポイント程度上回っているものの、「数と計算」や「図形」では6～9ポイントほど低くなっており、基本的な計算や解の求め方の説明に課題が残りました。

国語・算数共に、自分の考えを書き表したり、説明したりする記述式の設問に対する正答率が低い傾向があります。この課題に対して、どの学年でも授業の中で、問題や資料から情報を正確に読み取り自分の考えを書き表したり、試行錯誤しながら表現を工夫したりする学習活動をこれまで以上に設定する等、学年や児童の実態に合わせて取り組んでいきたいと思います。

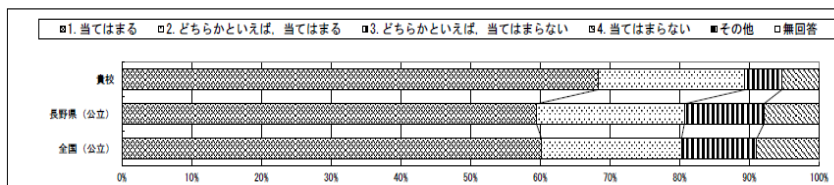


2 松川北小学校6年生の児童質問紙から見てきたこと

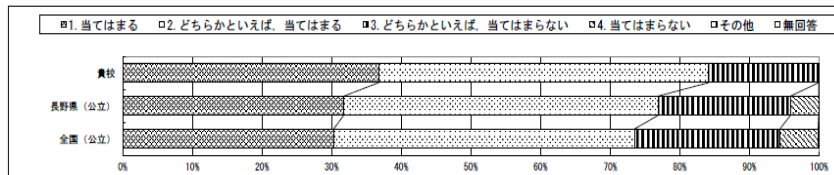
全国学力・学習状況調査では、学習や生活に関して、様々な視点から児童に質問をしています。その中から見えてきた本校6年児童の傾向について以下に挙げます。

(1) 生活全般について

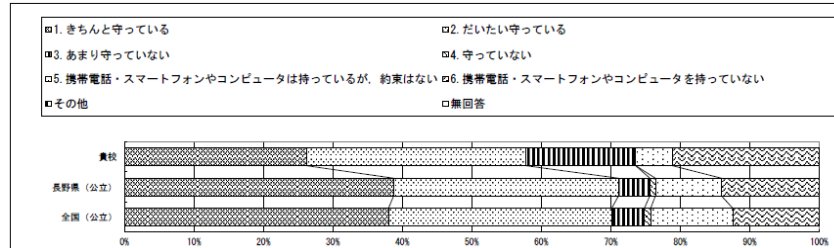
①将来の夢や目標を持っている児童が多い



②学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる児童が多い

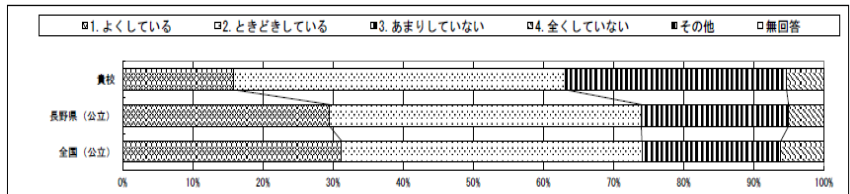


③携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人との約束を守ることがなかなかできない児童が多い

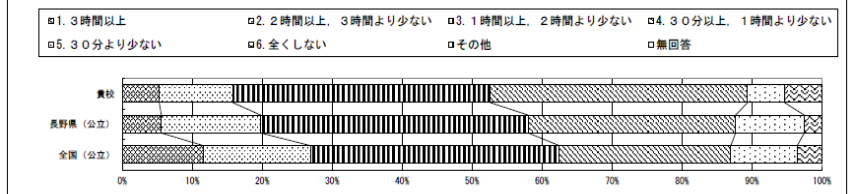


(2) 学習について

①家で自分で計画を立てて勉強をしている児童が少ない



②学校が休みの日に勉強している時間が少ない傾向がある



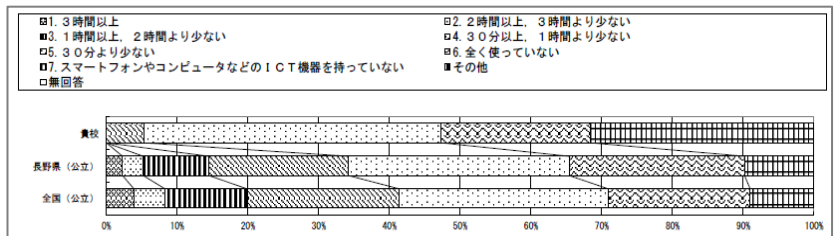
これらの結果から、夢や目標に向かって前向きな生活をおくろうとする意識の高さがある一方で、学習習慣やメディアとの付き合い方に関して課題があることが見えてきました。メディア使用が学習習慣形成に影響を及ぼしている可能性も十分にあると思われますので、ご家庭と協力しながら、家庭学習のあり方やメディアとの付き合い方を見直す機会を設けていきたいと思ひます。

今年度の学校保健委員会では、「メディアと心身の健康について」と題して、子どもとメディア信州運営委員の宮原明人先生による講演会を行います。より多くの保護者の皆様にお聞きいただければと思ひますので、ぜひご参加ください。 日時：12月7日(火) 13:50~14:5

3 今後の重点

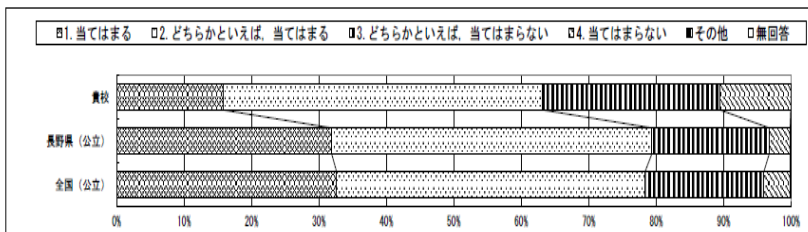
(1) タブレットやコンピュータ等、ICT機器の有効性を生かした学びの充実

児童質問紙の「1日当たりどれくらいの時間、ICT機器を勉強のために使っているか」という項目の結果から、本校は学習に使っている時間が非常に少ないことがわかりました。これからタブレットの持ち帰りも始まりますので、家庭学習等で使う頻度を増やして日常的な学習ツールの一つとするとともに、子どもたち一人ひとりにとって個別最適な学び、協働的な学びができるよう、ICT機器のよさを生かした学習を充実させていきます。



(2) 「振り返り」における自己の「学び」のマネジメント

児童質問紙の「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができるか」という項目について、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた児童が、本校はかなり少ない傾向にありました。授業や単元の終末に行う「振り返り」が十分でないことが原因の一つと考えます。



学んだことをアウトプットし、自己評価、相互評価することを通して、学びをマネジメントして次の学習につなげることができるよう、今後も日々の授業改善に努めてまいります。

児童1人1人の学力向上を目指して、これからもご家庭と協力しながら取り組んでまいりたいと思ひます。今後ともよろしくお願ひいたします。

(文責：教頭 山田綾子)